



第11回定期公演を迎えることができました。

これも関係者をはじめ皆様方の温かいご声

援のおかげと心より感謝申し上げます。今

回は朗読劇に挑戦しました。動きのない分、

表現力の難しさを実感しながら日々稽古に

励んでいます。皆様の想像力をお借りして

物語の世界観をお届けできればと思ってい

ます。新しい仲間も加わり刺激を受けこれ

からも挑戦を続けていきます。引き続きよ

ろしく願います。

舞鶴演劇サークル代表 粕谷美枝子

「ビターテイスト」 七分

三年前に母を亡くした中学二年生
父の再婚相手に反発してしまう。思春
期の想いは複雑で：

キャスト

隆(沙耶の父)

石間誠

沙耶(高校生)

森下瑞貴

愛理(沙耶の友達)

谷口陽子

香織(隆の恋人)ダブルキャスト

15日

粕谷美枝子

16日

岩崎幸江

ナレーション

森下瑞貴

「電気屋さんの愛」 七分

喫茶店の店主と馴染み客の電気屋さん
との心温まる掛け合い

河原崎美加

谷口陽子

(喫茶店の店主)

土田敬吾

中田透

(電気屋に勤める男性)

ナレーション

春山正一

「最後のラーメン」 十五分

生きる力を失いさまよう女。屋台の赤
いちょうちんに引き寄せられ、これを
最後にしようというラーメンを注文する。
今の生き方に悩んでいる屋台の店主。
今日でこの屋台のちょうちんを下ろす
日、最後の客にラーメンを提供する。
そんな二人の会話が生きる力に変わっ
ていく大晦日の夜。

店主

石間誠

(ラーメン屋の店主)

女(ラーメン屋を訪れた客)

森下瑞貴

ナレーション

春山正一

「ふたりぼっち」 五十一分

息子はある日突然、疎遠だった認知症の父親の面倒
を見ることになった。父親は自分の会社を倒産させ、
女好きもあり母親には色々と苦勞をかけてきた。そ
の母親が病気で危篤という時その最後を看取ること
もしなかった父を息子は決して許すことができない。
古いカセットテープに録音された不思議な響きが
十八年の確執を溶かしていく。
親子の愛情とは何か？葛藤する息子の心情を描く作
品です。

キャスト

勝彦(45歳息子)

森下弘理

親父(74歳認知症)ダブルキャスト

15日

山崎博

16日

瀬野卓

母(18年前に亡くなった)ダブルキャスト

15日

粕谷美枝子

16日

岩崎幸江

カレン(勝彦の彼女)

森下瑞貴

高倉(勝彦の部下)浮気相手

森津真理子

クラブのママ(親父の知人)

谷口陽子

山田(ティサービスのヘルパー)

中田透

里中(ティサービスのヘルパー)

谷口陽子

ナレーション(勝彦)

森下弘理

餅のあゆみ

平成22年 2月	7人にて発足
平成23年 6月	訪問公演4回
平成24年 5月	第一回定期公演「三人の強盗」
平成25年 6月	「おこんじょうり」
平成26年 5月	第二回定期公演「湖の娘」
平成27年 11月	第三回定期公演「見果てぬ夢」
平成28年 10月	第四回定期公演「貧乏神の宿賃」
平成29年 12月	「いのちのいろえんぴつ」
平成30年 10月	第五回定期公演「しあわせの王子」
令和元年 10月	第六回定期公演「ランナウェイ」
令和2年 12月	第七回定期公演「天つこもり」
令和3年 10月	第八回定期公演「煙が目にしみる」
令和4年 12月	第九回定期公演「ゆずのアルバム」
令和5年 12月	「穴、キツネとネズミの物語」

新型コロナウイルス感染症の影響により休演
第十回記念公演「駅」

上記記載以外に小公演、多数の訪問公演・ワークショップ等
行っておりまいた。

スタッフ

演 出：粕谷美枝子

舞台監督：森下瑞貴

舞台美術：村尾清

大道具：村尾清

小道具：濱側博美

衣装メイク：濱側博美

照 明：四方正道

(Stage Staff: Gazmaru)

音 響：森下弘理

宣伝美術：山田康幸

制 作：粕谷美枝子

作：山田ゆづ子

役者・裏方 募集!



対象：15歳以上

演劇に興味のある人(経験は問いません)
役者はもちろん照明・音響、裏方希望もOK

稽古日：毎週金曜日 7:00p.m.~9:30p.m.

連絡先：舞鶴演劇サークル

☎0773-62-4764(粕谷)

舞鶴市総合文化会館

〒625-0036 京都府舞鶴市字浜2021番地
TEL: 0773-64-0880 FAX: 0773-62-4867

